

【受験生特集】—さまざまな専大ライフをご紹介します。

就職活動-(1)

3年次の秋から始まるわけではない

「大学生活」をどう過ごしたか、何を
得たかを問われる就職活動は、入
学時からスタートするといっても過
言ではない。専大では、キャリアプ
ランを考えさせる、さまざまなシス
テムが用意されている。このページ
では、そのいくつかを紹介する。



経営学部の報告会



経済学部インターンシップ発表会

インターンシップ体験記

職業観・企業観を確立する絶好の機会。経済学部(学外特別研修)、経営学部(企業研修)の体験者から
寄稿してもらった。

「働く意義」を発見 ポジティブに仕事を

「ワーカーズコープエコテック」で研修 大森光恵(経済3)

アルバイトとは違った形で「社会に触れてみたい」という希望を抱いて、インターンシップを履修しました。私の研修先は、環境に関わる仕事をしている「ワーカーズコープエステック」という会社です。ここでの研修は、時に辛くもありましたが、通常の授業とは一味違った、たくさんの経験が出来たと思います。

その中で最も考えさせられたのは「働くこと」についてです。私はこれまで「なぜ働かなければならないのか」という疑問に対する答えを探しあぐねていたのです。答えが出なかったのは、仕事とは「大変なもの、自分の時間がなくなるもの」と、ネガティブにしか捉えていなかったのだと思います。

しかし、自分の仕事に誇りを持って仕事をしている方々と実際に触れ合うことによって、やりがいや目標があればネガティブな部分をいくらかでもポジティブに変えていくことが出来る。このことにインターンシップを通じて気づかされたのです。とても大きな発見でした。

この貴重な発見は、これからの人生に大きな影響を与えてくれるものと確信しています。「ネガティブ」を「ポジティブ」に変えていくことが出来るような仕事——。私も将来、そんな仕事に従事したいと思っています。

人のつながり大切に「新しい世界」へ—

「(株)河野メリクロン」で研修 長張慎平(経営3)

徳島県の(株)河野メリクロンという会社で研修をさせていただきました。洋蘭(シンビジウム)を品種改良し、自社で生産まで行っている、業界唯一の一貫生産をする会社です。

「企業とはどのようなものなのか」を学ぶだけでなく、多くのことを学びましたが、その中で一番、大きな財産になったのが「人のつながりを大切にすること」です。多くの方から、このことをお聞きしました。特に、河野通郎社長の「会社の一大転機となった要因が『人のつながり』からくる助言だった」というお話が印象的でした。

もともと人と話をするのが好きで、研修中は出会ったすべての方々の名前を覚えること、しっかりと名前を呼んで、あいさつすることを意識していました。次第に社員の皆さんに「私」という人間を受け入れてもらうことができました。積極的に話をするのが「人のつながり」を創り、その「つながり」がさまざまなことをもたらし、自分という枠を超えて新しい世界へ導いてくれるのです。このことを大切に心に入れて生きていこうと思

いました。

どの企業へ行っても必ず大きなものを得られるでしょう。常に笑顔と元気なあいさつを忘れなければ……。企業研修の授業は、人として社会で生きる術を社会の現場で学べる素晴らしい授業だと感じています。

【受験生特集】—さまざまな専大ライフをご紹介します。

就職活動-(2)

多彩な就職支援プログラム

営業職入門



営業の第一線で活躍するOB・OGを招いて10月に行われた。「営業職ならではのやりがいを知ることができた」「イメージが変わった」「就職活動にやる気が出てきた」との感想も。第2弾は2/18に神田で行われる。

本音で語る内定者Cafe



10月に行われた、学生と共催の企画に3年次生約90人が参加した。「ナマの情報が聞けた」「同世代で、話しやすかった」「資料が豊富だった」との感想が聞かれた

第2回就職ガイダンス



「シュウカツ」本番直前の2月2日、生田・神田両キャンパスで行われた。企業説明会や筆記試験の留意事項、春期休暇中に大学で行う支援プログラムなどの説明に学生たちは真剣にメモを取っていた。

【受験生特集】—さまざまな専大ライフをご紹介します。
就職活動-(3)

人間力の形成を—

「キャリアデザインセンター」

就職率の低下、フリーターやニートの増加が問題となっている中、キャリア教育がクローズアップされている。本学でも昨年4月に「キャリアデザインセンター」(池本正純センター長)が設置された。

本学における特長は「人間力の形成」にある。単なる就職支援の前倒しではなく、自分で考え、自分の言葉で語れる、広い意味でのコミュニケーション能力を強化する教育を正課と課外の双方から行い、人間力を総合的に形成するための、さまざまな取り組みが今春から本格的に始まる。

「ベンチャーインターンシップ」

小さな組織では 仕事の全体の流れを見ることができる。ベンチャー企業の中でも将来性の高い企業でのインターンシップをこの春期休暇中から実施していく。

「オリジナルキャリアノート」

同センターを中心として、キャリア教育を織り込んだ導入教育の実施や、入学から卒業までの目標を描き、達成・実現するために活動を記入するノートの導入・活用が予定されている。

長期交換留学許可書交付式

06年度長期交換留学プログラム（I期）の留学許可書交付式が1月24日、生田キャンパスで行われた＝写真。留学先と氏名は次の通り（敬称略）。

▽リュミエール・リヨン第2大学（フランス）＝長濱淳子（法3）、種子田絢子（法3）、澤井裕子（文3）

▽檀国大学（韓国）＝竹本淳一（法2）、光武麻衣（経営2）

▽西北大学（中国）＝飯島奨（院文博1）

▽ウーロンゴン大学（オーストラリア）＝諸星源（経済3）、堀内優子（経済3）

※同プログラムは、協定校で開講の正規授業を受講し単位を修得することで、本学卒業単位に振り替えることができ、4年間での卒業も可能となっている。



基礎的な語学力の習得と異文化理解をめざす

7大学へ96人

05年度(平17)春期留学プログラム参加者一覧

(敬称略)

※単位認定の措置があります。

サスケハナ大学(アメリカ)	ワイカト大学(ニュージーランド)	トゥーレーヌ語学センター(フランス)
2/4~3/26 10名	2/4~3/5 15名	2/25~3/26 21名
イリノイ大学アーバナ・ シャンペイン校(アメリカ)	北京大学(中国)	イペロアメリカーナ大学(メキシコ)
2/18~3/19 10名	2/19~3/18 20名	2/13~3/11 10名
ウーロンゴン大学(オーストラリア)		
2/4~3/12 9名		